

2026年度(令和8年度)保育所における自己評価

松阪清泉愛育園(清泉愛育園グループ)

今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に活かせるような内容で評価します。

評価方法:

(1)全職員へのアンケート実施

(2)アンケート集計をもとに自己評価委員会にて議論及び評価の決定

評価について:

A(大変良い)、B(良い)、C(一部検討を要する)、D(改善を要する)の4段階で評価します。

項目ごとに、意見・改善策を記述します。

		8月評価				3月評価							
内容		A	B	C	D	意見・対策		A	B	C	D	意見・対策	
保育内容に関する評価													
1	保育所の職員らが、すべての子どもについて、一人一人の存在とその人権を尊重していますか？	○				子どもの思いに耳を傾け、保護者対応もできていると評価。園全体として良い保育ができている。今後も子どもの気持ちに寄り添った関わりを継続していく。							
2	保育所の職員らが、子どもたちに身体的な苦痛を与えたり、人権をはずかしめたりするなど、精神的苦痛を与えることがないようにしていますか？	○				子どもの人権を尊重し、一人ひとりの気持ちや人格を大切にしたい関わりを行っている。職員間で子どもへの言葉掛けや対応について振り返りを行い、子どもが安心して過ごせる環境づくりに努めている。							
3	不適切保育(園内で行われる心身における虐待など)が行われないよう、適切な保育が実施できていますか？	○				園として、不適切な保育についての正しい理解を深め、子どもの人権や人格を尊重した保育を職員全体で共通認識としている。							
4	個人情報の保護に配慮し、園児やその家庭についての秘密を正当な理由なく漏らすことがないようにしていますか？	○				園児や家庭に関する個人情報の重要性を職員一人ひとりが認識し、守秘義務を守るとともに、書類や写真、データ等の取り扱いに十分配慮するよう努めている。							
5	保育所保育指針を読み、参考にして指導計画を作成していますか？	○				保育所保育指針をもとに園のカリキュラムを作成し、その内容を踏まえて指導計画を作成している。園のカリキュラムと指導計画のつながりを意識し、子どもの発達や実態に合わせて内容を見直しながら、保育の充実につなげる。							
6	清泉愛育園の方針を理解し、各園の保育計画をもとに指導計画を作成していますか？	○				園の方針を理解し、園の教育・保育計画をもとに指導計画を作成している。今後も職員間で方針を共有し、子どもの実態に合わせた計画作成に努める。							
7	各クラスにおいて、月・週・日案などには、子どもの意欲を誘うものにもなっていますか？	○				園のカリキュラムに沿って、子どもの興味や関心を高め、意欲を引き出せるよう月・週・日案を作成している。							
8	実施した保育について(複数担任の場合は共同して)、職員自ら保育を評価・反省・次の指導計画にいかせていますか？	○				その日の保育を振り返り、気になった子どもの姿や保育について職員同士で反省・意見交換を行っている。2クラスある学年では学年で情報共有や話し合いを行い、職員間で共通理解を図りながら、今後の保育や指導計画に活かしている。							
特別な配慮及び健康管理													
9	園児たちの発達・発達状況を把握し、職員全体で情報共有することで、日常の保育にいかせていますか？		○			園児一人ひとりの発達・発達状況について、担任を中心に把握し、必要に応じて職員間で情報共有を行っている。一方で、職員全体での共通理解や、共有した情報を日常の保育に十分に生かすことに課題がある。							
10	食物アレルギーなどの子どもに対して、医師の指導のもと適切な対応をしていますか？	○				医師の指示書をもとに、保護者・保育教諭・調理員で情報を共有し適切な対応を行っている。除去食用の食器を区別するとともに、配膳時のダブルチェックを徹底している。							
11	日頃から問題の早期発見を心がけ、虐待や家庭内の問題が疑われる場合は、園長や主任、専門機関と連携をとりながら適切に対応していますか？	○				日頃から子どもの心身の変化や家庭での様子に目を向け、気になるケースについては職員間で情報共有を行う。気になるケースは園長・主任・専門機関と連携し、適切に対応している。							
12	特別な配慮がある園児に対して、園内で情報共有をし、専門機関と連携を取りながら対象園児への理解を深めるような取り組みをしていますか？	○				乳児期から子どもの発達や様子を丁寧に把握し、早期発見・早期支援につなげている。必要に応じて専門機関や関係機関と連携し、専門的な助言を得ながら子ども一人ひとりへの理解を深め、適切な支援につなげている。							
13	園内の感染症対策、急な怪我などの対応を職員らが理解し、実践できていますか？	○				看護師による園内研修を実施し、感染対策や急な怪我や病気等への対応について職員間で共通理解を図っている。急な対応が必要な場合も職員同士が連携しチームとして対応できている。							
清泉愛育園グループの保育													
14	清泉愛育園グループの保育理念・各園の保育目標を理解し、実現できるような保育計画を立てていますか？		○			保育目標や理念は理解し実践しているが保育計画の中にまで取り入れての記入がなされていない。							

15	子どもたちの自己肯定感を育む保育をしていますか？ (自己肯定感を育む工夫を保育計画に入れていますか？)	○				上記同様実践はしているが計画の中に言葉として盛りこまれるまではいいかない。						
16	園全体で「対話」を大切に して、人との対話を楽しむよ うな保育や人の話を最後まで 聞けるような指導をきちんと 行っていますか？	○				日々の保育の中で対話を大切にし、人の話を聞く経験を積み重ねている。就学に向けて「人の話を最後まで聞く力」を育てることは大切だが、年長児になってから身につけるのではなく、乳児期から発達に合った関わりを通して、少しずつ育んでいく必要がある。						
17	体力づくりのための活動を 保育内容に取り入れています か？	○				朝の体操やマラソンを継続して実施し体力づくりにつなげている。暑い時期は熱中症予防のため戸外に出られないこともあるが、園内ホールなどを活用し、継続して取り組んでいく。						
18	園の食育方針を理解し、食 べ物を大切に作る「共食」 「植食」を保育内容に取り入 れていますか？	○				畑との距離や夏場の草抜きなど畑での栽培には課題があるため、子どもたちがより身近に野菜の栽培に触れられる方法を工夫していく。プランターや袋栽培、再生栽培など、さまざまな栽培方法を取り入れ身近な野菜の成長を通して食育につなげていく。						
19	体力づくりのための活動を 保育内容に取り入れています か？	○				朝の体操やマラソンを継続して実施し体力づくりにつなげている。暑い時期は熱中症予防のため戸外に出られないこともあるが、園内ホールなどを活用し、継続して取り組んでいく。						
経営・組織運営												
20	能率的・合理的な運営組織 になっているか？	○				それぞれの役割や担当を明確にしなが ら、組織的に園の運営を行っている。 今後も職員間の連携を大切にし、業 務の効率化や円滑な運営に努める。						
21	職員の配置、係の分担など は適材・適所か？	○				人員体制によって、運営や行事・会議 等の準備が直前になることもあった ため、今後は職員間で連携し、計画的 に進められるよう工夫していく。						
22	各種会計を適正かつ適切に 処理しているか？	○				購入伺書を提出し、承認を得てから購 入すること、また購入する際は事前に 担当者へ声をかけることを職員間で周 知し、共通認識をもって適正な会計処 理が行えるようにしていく。						
23	定期的に個人面談が行わ れ、人事評価が適切に行わ れているか？	○				年3回程度、個人面談を実施し、職員 の状況や意見を把握している。						
24	職員の自己評価がきちんと できるよう、サポートがなさ れているか？	○				自己評価の機会には設けているが、十 分に活用できていない部分もある。						
25	自己評価の内容が保育の 質向上に反映されている か？	○				各職種の職員が集まり、自己評価を通 してそれぞれの立場から意見や気づき を出し合い園全体の保育の質向上に つなげている。						
26	保育所の自己評価のため に、第三者(専門家・保護者 ・地域住民)からのフィード バックを受けているか？	○				年度末頃に保護者アンケートを実施し ている。今後は専門家や地域住民から 意見をいただく方法や機会について検 討していく。						
27	各種会議を適切かつ効率的 に進めているか？	○				会議で決定した事項を整理し変更が生 じた場合も職員全体へ確実に周知し、 共通理解のもと進められるようにする。						
28	職員それぞれが全体的な立 場を理解し、協力や助言を 惜しむことなく、施設運営に 関わっているか？	○				クラス担任に入っている職員にとっ てはクラス運営に全力投球で全体的なこ とに関われる機会が少ない。						
教育・研修制度												
29	保育内容を向上させるた め、園内で保育研究・研修 がなされているか？	○				年度初めには絵画研修やリズム研修 などを実施し、職員の専門性を高め、 保育内容の向上につなげている。						
30	研究・研修の計画、運営は 適切に行われているか？	○				行事等との重なりを考慮しつつ、職員 がやりたい研究・研修にも積極的に 取り組めるよう、計画・運営をしてい く。						
31	研究・研修の成果を日常の 保育内容にいかせている か？	○				動画配信による手遊び研修など、分か りやすく実践に取り入れやすい研修を 活用し日々の保育にも生かしている。						
32	外部研修会・講演会などへ の参加を積極的に図ってい るか？	○				松阪市認可保育連盟等、さまざまな外 部研修会や講演会に積極的に参加し、 得た学びを職員間で共有し、日々の 保育に生かしている。						
33	外部研修会・講演会などに 参加した場合、内容を園内 に還元しているか？	○				外部研修や講演会等への参加後は報 告書を提出し職員がいつでも閲覧で きえるようにすることで研修内容を共有 している。						
34	園児や保護者に関する「個 人情報」を適切に取り扱っ ているか？	○				個人情報とは施錠できる場所で適切に 保管し、情報の取り扱いにも十分配慮 している。						
情報・設備・施設管理												
35	公文書收受・発送・処理を適 切に行なっているか？	○				担当者を明確にし、適切に管理・処理 を行っている。						
36	パソコンやタブレット(各種シ ステムやコードモン)はパス ワード設定をし、利用しない 時は施錠管理できる場所に 保管しているか？	○				パスワードを設定し、使用しない時は 施錠できる場所に保管するなど、徹底 した管理のもと、個人情報の漏えい防 止に努めている。						
37	施設内外の設備の安全点 検を計画的に行なっている か？	○				設備について継続的に安全点検を行 い、不具合や危険個所の早期発見・改 善につなげている。						
38	遊具・用具などを活用しやす いように整理・保管している か？	○				遊具や用具を整理・保管し、子どもが 安心・安全に使用できるよう、おもちゃ は毎日消毒するなど、衛生面にも配慮 して管理している。						
39	不審者などに対応する周到 な配慮を行なっているか？	○				不審者対応訓練を実施するとともに、 日頃から出入口の施錠や来園者の確 認を行い、安全管理を徹底している。						

開かれた保育所づくり											
40	掲示板・掲示場所などを適切かつ効果的に活用しているか？	○				玄関掲示板を利用し、園で流行している感染症など、保護者に必要な情報を分かりやすく掲示している。					
41	他施設との年間交流計画は保育目標や課題に沿ったものになっているか？		○			今年度より架け橋プロジェクトがスタートした。グループ園での交流保育も実施予定であり子どもの育ちにつながる交流となるよう進めていく。					
42	他の施設の職員同士が、研修や交流の機会を持って、互いの保育・教育に対して理解を深め相互にアドバイスできるような関係を構築できているか？	○				松阪市認可保育連盟での交流保育や各年齢部会等を通して、各園の職員と情報交換や意見交換を行い互いの保育について理解を深めている。					
43	他の施設と日常的に情報交換をし、それを交流活動に生かしているか？	○				グループ園での交流保育を計画・実施していく。松阪認可保育連盟の交流保育や年齢部会に参加し、他施設との交流や意見交換を行っている。					
44	保育参観日を設定しているか？	○				次年度は年間2回の保育参観を取り入れる方向で検討。外部講師によるスイミング・体操・英語などの活動についても参観の機会を設け、園での子どもの姿や育ちを保護者と共有できるようにしていく。					
45	保護者を含む地域の人材活用をしているか？	○				園の行事等において、保護者に参加・協力をいただきながら、子どもたちの活動を支えていただく機会を設けている。					
46	地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか？		○			今年度は11月に開催される松阪氏郷まつりに、年長児がよさこいの演舞を披露し参加する予定。今後とも地域とのつながりを大切にし、地域の文化や行事に触れる機会を取り入れていきたい。					
47	地域の子育て支援センターとして、園の開放をしているか？	○				年4回子育て支援実施を実施している。					
48	地域に住む子ども同士、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか？		○			近隣の幼稚園の子どもたちと、遊ぶ機会はあるが地域の親子と遊ぶことは現実的に難しい。					
49	職員による「子育て相談」や保護者を対象にした学習の機会を設定できているか？			○		園庭開放の機会に子育てを相談できる機会を作っている。					
50	医療機関・児童相談所などの専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供できているか？	○				必要に応じて医療機関や専門機関と連携し園児や家庭の状況に応じた必要な情報を保護者に提供している。今後も連携を大切にしながら必要な情報先や相談先につながるよう継続して取り組んでいく。					
51	保育所の情報を発信しているか？（お便り・ホームページ・SNSなど）	○				園だよりやコドモン、ホームページ等を活用し園の行事や子どもたちの様子、必要な情報を発信している。					
外部評価											
52	第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか？			○		今後実施予定。					
53	地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか？	○				保護者から意見や要望を伺う機会はあるが、地域から意見をいただく機会に限られており、今後とも地域との関わりを大切にし、地域の声を施設運営に活かせるよう努めていく。					